



海洋環境整備事業

概要

海洋に囲まれた我が国、そのなかに存在する瀬戸内海は海上輸送や工業・漁業等の生産活動、またレクリエーションや観光の場として人々に心の安らぎを与える重要な役割を果たしています。一方、産業の発展や消費活動の多様化によって産業廃棄物や生活廃棄物が河川や海域沿岸部から海へ流出するようになり、これに加えて船舶の海難事故等による大量油の流出も伴って海洋環境の悪化が進み、船舶の航行・漁業・レクリエーション等の活動に支障を与えてきました。

私たちの事務所では昭和52年度より海洋環境整備船「いしづち」を配備し、海面に浮遊するごみや流木の回収を行っており、航行船舶の安全確保をするとともに美しい海の環境を守っています。



「いしづち」の担務海域

海洋環境整備事業



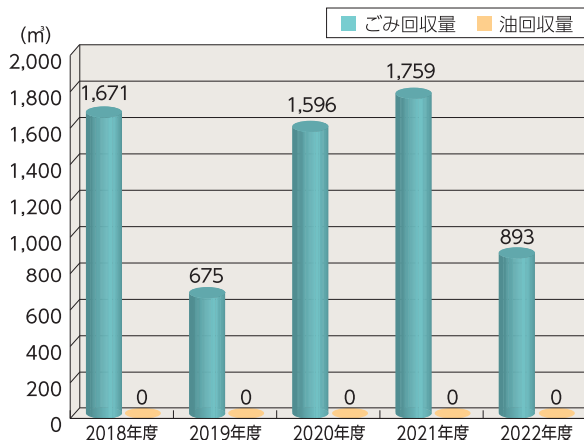
流木回収状況(2018年7月豪雨時)



ごみ回収状況(2020年7月豪雨時)



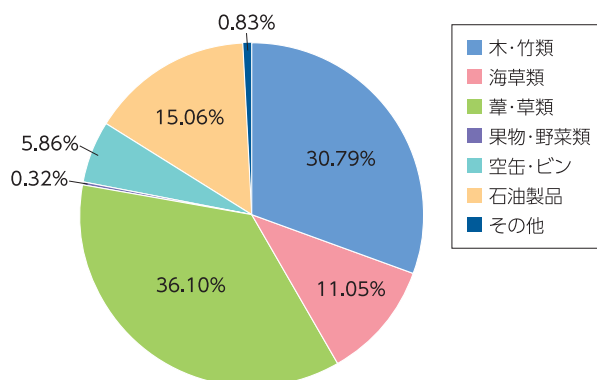
年度別ごみ・油回収量



※2018年度及び2020年度は7月豪雨の影響で、2021年度は長梅雨の影響で、それぞれ回収量が多くなっている。

(出典：回収実績より四国地方整備局作成)

回収ごみの分類



※2018年度から2022年度の合計
(出典：回収実績より四国地方整備局作成)